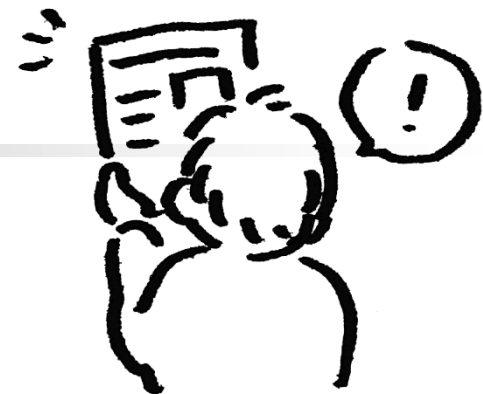


学振特別研究員の申請を 通すために



D1 Harumi Asada
Suzuki Laboratory

Department of Electronic and Information
Engineering,
Graduate School of Engineering,
Tokyo University of Agriculture and Technology

まえがき

私(朝田)について

- 2021年4月から東京農工大学大学院博士後期課程に進学しました。テラヘルツ波帯や赤外領域で動作する、メタサーフェス(メタマテリアル)と呼ばれる人工構造材料の研究をしています。
- また、2021年4月、日本学術振興会(学振)特別研究員DC1に採用となりました！



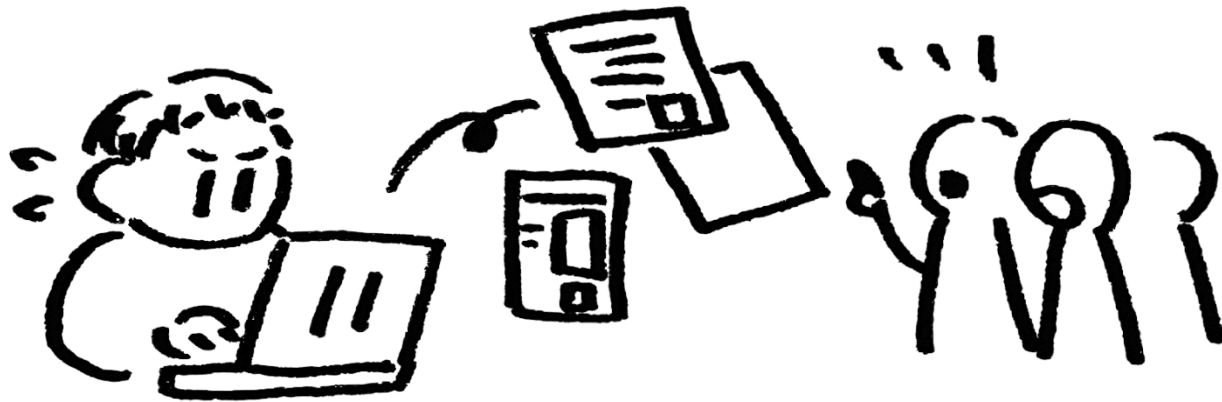
このスライドについて

- 学振特別研究員の申請にあたり、2020年4～6月に申請書の作成を進めました。
- その申請書の作成を通して**反省したところ**、また**今後意識していきたいところ**を書き出しまとめました。

まずは形に起こす！

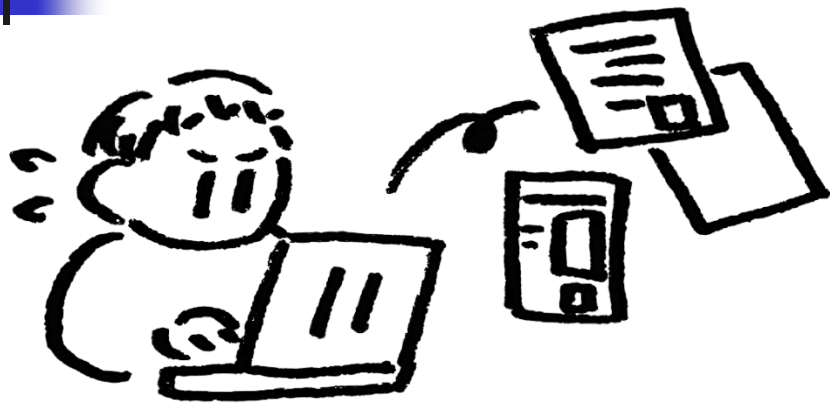


- まずは形に起こす(他人から見えるものにする)
- ✕ 自分の頭の中だけで考えて、「ああした方がいいのか?」「あれはどうなんだろう?」と悩む(だけの)時間が多かった。



- ✓ まずは図面を貼ったり文章を書き起こしたりして他人から見える形にして、アドバイスをもらえる状態にする。(見えないとどうしようもない!)

とにかく形に起こす！



- とにかく形に起こす(他人から見えるものにする)
 - ✓ 自分でも、頭の中だけで考えるより、実際に紙(word)に起こして見た方が把握でき、改善点を見つけられる。
- アドバイスをまずは実行してみる
 - ✗ p.3と同じ...いただいたアドバイスを頭の中でこねくり回して悩むだけで、なにも出てこない時間が多かった。
 - ✓ なにはともあれまず実行して形にしてみる。アドバイスをしてくれた人に、実際に形になったものを見せることで、さらに次のアドバイスをもらうことができる(かもしれない)。

結→起→承→展の文章を書く！



いきなり内容を伝えても
読者は準備ができていない

- 結→起→承→展の文章を書く
- ✕ (とりあえず欄を埋めてしまおうと)
思うまま文章を書いてしまっていた。



それから内容②③を伝える

- ✓ 「結起承展」を念頭に、
(基本的に)全ての段落で、
①段落の結論(1文)
→②その根拠や背景
→③まとめ、展望(1文)
の流れを徹底する。特に①が重要！

スタイルを統一する！

- スタイルを統一する！
- ✓ **たとえば、強調の形式を1つに絞る。**読者を迷わせないようにする。強調の仕方が複数あると、(白抜き、太字、灰色マーカーはそれぞれどういう意味の強調なんだろう)と余計なことを読者に考えさせてしまう。推すべきところを絞り、ここぞというところで強調する。
- ✓ 図や参考文献の番号は、申請書全体を通して連番にする。上記と同じで、余計なことを読者に考えさせない。



- 申請分野による書き方の違いに気を付ける
- ✓ 参考文献の表記や「試作⇔作製」「磁界⇔磁場」等、分野ごとの主流の違いに注意する。
- 正確な言葉・表現を使う
- ✓ 正確さを心掛けて丁寧に文章を作る。言葉や表現ひとつひとつの意図を考える。

自己アピールはぬかりなく！

- 結→起→承→展の文章を書く(本体と同じ！)
- ✓ 1文目に、その段落(エピソード)を通して、自分の
 どういうところをアピールしたいのか、どういう点を
 汲み取ってもらいたいのか、という結論を書く。
 最後の1文でも、その段落(エピソード)のまとめ＝
 結論を適宜表現を変えて改めて書く。
- ✓ 読者(自分と会ったことや話したことがない人)が
 想像できるように、「起→承」の部分(エピソード)を
 具体的に、詳細に記載する。



基本は同じ。

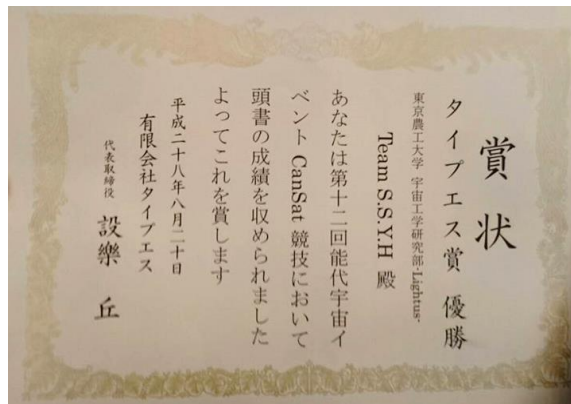


- 周りに相談してみる
- ✓ 自分がどんな存在か、どんなことを
 経験してきているか、についてを周りに
 聞いてみる。自分では気付きにくい特
 長的な性質やエピソードを直接教えて
 もらったり、またはその話をきっかけに
 思い出したりできる。

とにかくポジティブに！



- そのほか、自己アピールのために...
 - ✓ とにかくポジティブに！ 話の流れの中でも、ネガティブな印象を受ける表現や単語の使用を避ける。
 - ✓ 「自分のアピールポイントが分からない...」
→書けそうな経験(ネタ)をもとにして、その経験(ネタ)からどんな自分が見えるか、どんな自分が言えるかひたすら考えてみる。
- ✓ 記載したエピソードを視覚的に説明する写真や図面を適宜用いてアピールする。
賞状や新聞記事は視覚的にインパクト◎。
もしあれば積極的に載せてエピソードとともに紹介しよう。



👉2016年の能代宇宙イベントに参加し、
缶サット企業賞コンペで優勝したときの賞状